

第 1 1 期市政アドバイザー 第 6 回意識調査 結果概要 (抜粋)

第 6 回意識調査の集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査にご協力いただきました第 1 1 期市政アドバイザーの皆様へ厚くお礼を申し上げます。

本調査は、庁内各所管部局の調査希望に基づいて、行政が直面している課題に対する市民の皆様の意識や要望、生活の実情などについてアンケートを行うもので、調査結果は、各施策・事業を展開していくうえで活用しています。

テーマ 「市民病院について」 P. 1
「日常生活での交通や移動に係わる意識について」 省略

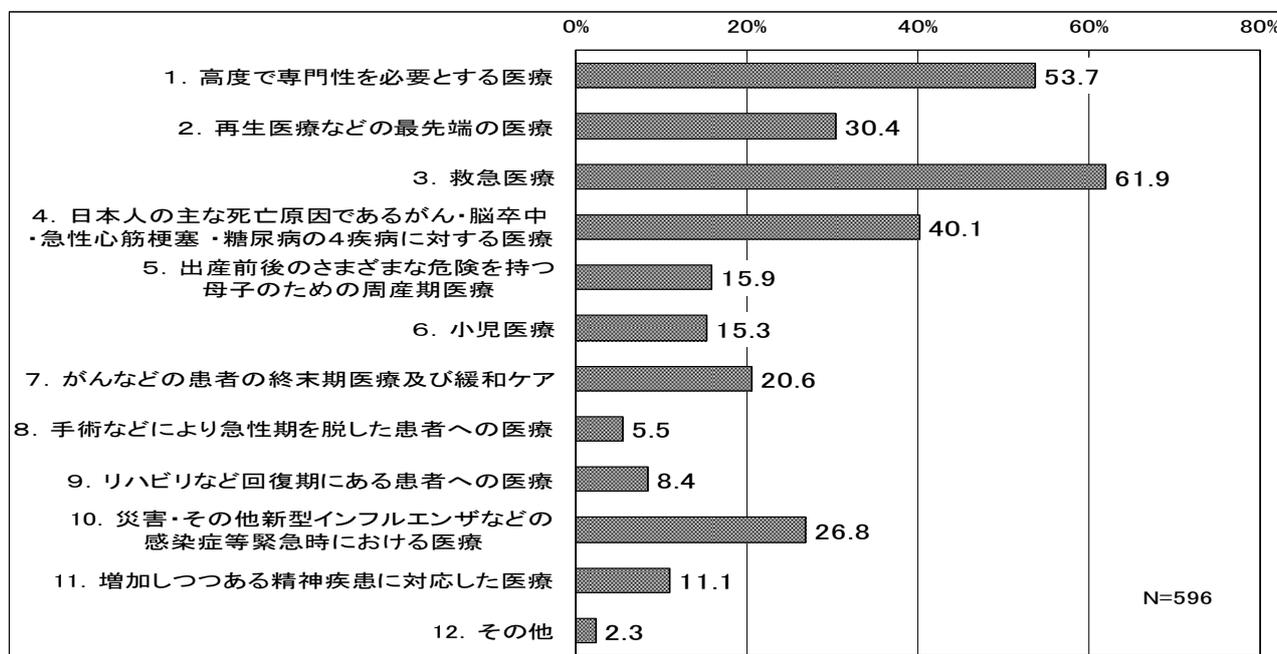
調査期間 平成 2 4 年 8 月 9 日から 8 月 2 2 日
調査対象 第 1 1 期市政アドバイザー 1, 0 4 5 人
回収数 6 0 0 通 (回収率 5 7. 4 %)

< 調査結果の見方 >

1. 比率はすべて、各設問の無回答及び該当しない回答を除いた有効回答者数に対するパーセントで表しています。したがって、複数回答が可能な設問の場合、選択肢のパーセントの合計は 1 0 0 % を超えます。
2. 比率は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が 1 0 0 % にならない場合があります。
3. 有効回答者数は、N (Number o f case の略) として掲載しました。

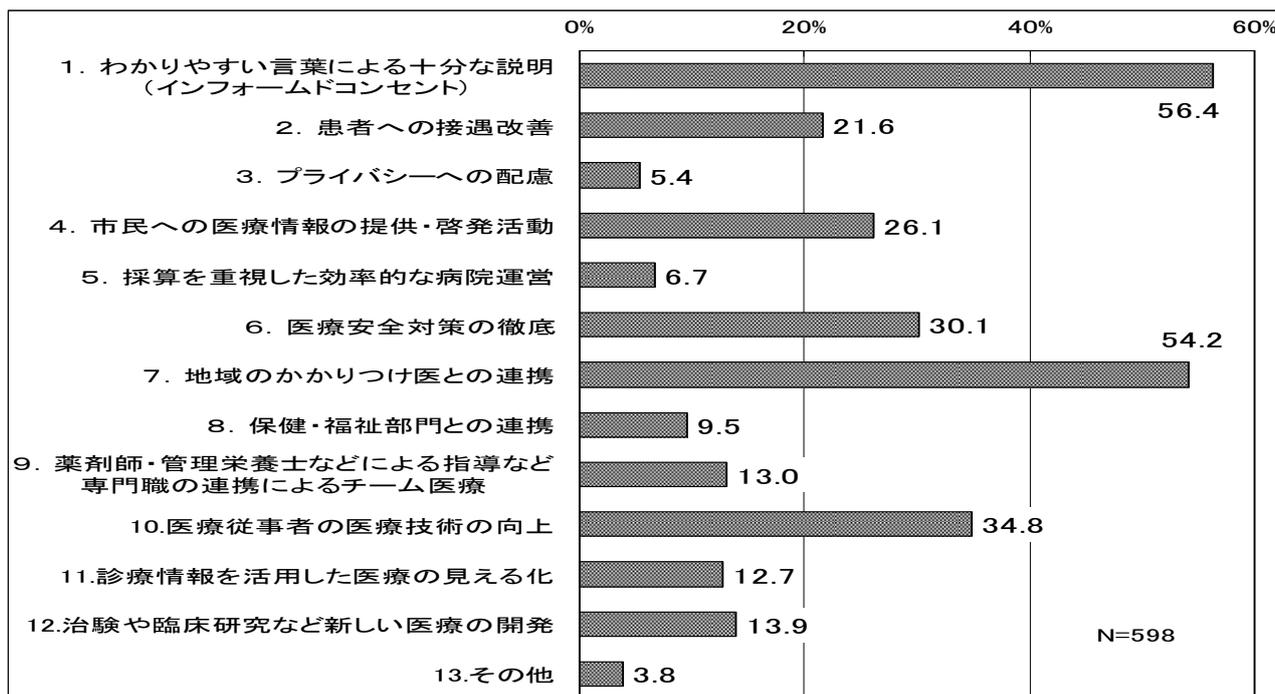
市民病院について

問 1 市民病院に望む医療機能 (提供して欲しい医療) (3 つまで選択)。



「3. 救急医療」が 61.9%、「1. 高度で専門性を必要とする医療」が 53.7%と高く、市民病院として、現在も救急時の対応や高度な医療の提供に取り組んでおりますが、より一層の充実が求められていることが認識できました。また、「2. 再生医療など最先端の医療」についても 30.4%となっており、最先端医療について期待されていることも分かりました。

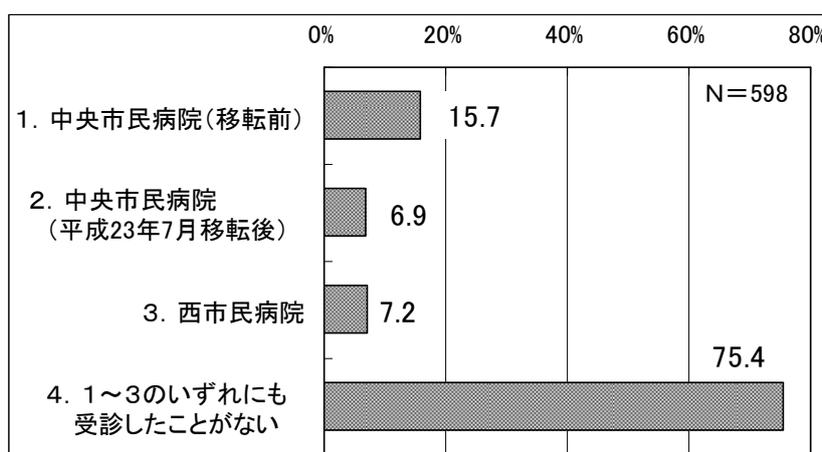
問2 市民病院に望むもの（医療機能以外の項目）（3つまで選択）。



「1. わかりやすい言葉による十分な説明」が 56.4%と最も高く、自分の病気や治療について、十分に説明を聞いて理解したいという想いの強さを感じました。

また、「7. 地域のかかりつけ医との連携」も 54.2%と高く、地域のかかりつけ医と市民病院との役割分担と十分な連携が今以上に求められているということが分かりました。

問3 平成21年4月から現在までの間に、市民病院に受診されたことがあるか（複数選択可）。



市民病院を受診したことがない方が約8割と多く、この度の意識調査の結果は、市民の皆様が市民病院に対して一般的に望まれている機能等であると考えられます。